

エコ事業所取組レポート（2009年度版 2008年3月～2009年2月）

事業者名及び代表者名

太陽電化工業株式会社

代表取締役社長 伊藤 豪

愛知県名古屋市瑞穂区河岸一丁目5番1号

環境管理責任者

常務取締役 伊藤 卓

連絡先 052-821-1161

事業内容

電気めっき業

事業規模

売上 5億6200万円（2007年度）

従業員 49名（2008年4月1日現在）

工場延べ床面積 2794㎡



当社はめっき業の生産活動を行う際に、有害な薬品を使用し、その取扱によっては大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などを引き起こす可能性があり、環境との共生、調和が大変重要な課題と認識し生産活動における環境負荷を継続して削減を図る為、全社一丸となって環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。

① 電力・燃料の効率化を図り、それに伴う二酸化炭素排出量を削減する
水の削減に努める

廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）を推進する

生産ラインの工程を見直し、使用原材料を削減する

VOC（揮発性有機化合物）物質の使用量を削減する

排水について、自主管理値を設定し公害防止に努める

これらについて、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 地域住民の皆様との環境コミュニケーションに積極的に取り組みます。

4. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ、公表します。

制定 2008年 1月 6日

太陽電化工業株式会社

代表取締役社長 伊藤 豪

主な環境負荷の実績（2007年度・2008年度）

項目	内容	2007年度	2008年度
		(2007年3月～2008年2月)	(2008年3月～2009年2月)
総エネルギー投入量	購入電力(MJ / 年)	8,971,861	7,891,150
	化石燃料(MJ / 年)	8,371,765	7,087,726
総物質投入量	資源投入量(t / 年)	54.6	43.9
水資源投入量	上水(m ³ / 年)	37,570	28,961
温室効果ガス排出量	二酸化炭素(Kg - CO ₂)	859,651	720,033
化学物質排出量	大気への排出量(t / 年)	2.2	1.0
廃棄物等総排出量 (再使用は有機溶剤の再使用) (再生利用は汚泥のリサイクル)	再使用(t / 年)	0.04	0.03
	再生利用(t / 年)	39.21	43.52
	単純焼却(t / 年)	3.92	3.46
廃棄物最終処分量	最終処分量(t / 年)	11.45	11.94
総排水量	下水道(m ³ / 年)	37,570	28,961
	BOD(Kg / 年)	3,156	2,896
総製品生産量	売上(円 / 年)(外注加工費除く)	562,556,134	447,525,505

環境目標および実績と取り組み内容例（節水）

基準値	目標値	実績値	主な取り組み内容
37,409m ³	36,661m ³	27,297m ³	節水運動
66.7m ³	64.7m ³	61.0m ³	節水コマの設置
(2007年度)	(3%)	(2008年度)	

取り組み結果 **8.5%減少 目標達成！！**

2 段目は売上比（百万円）

取り組み内容

節水運動

節水コマの取り付け（トイレ）

水漏れの修繕

流水電磁弁の修繕

各現場に環境活動チェックシートの
記入を義務付け

環境活動チェックシート

項目	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12	10/13	10/14	10/15	10/16	10/17	10/18	10/19	10/20	10/21	10/22	10/23	10/24	10/25	10/26	10/27	10/28	10/29	10/30	10/31	
節水運動の実施状況																																
節水コマの取り付け																																
水漏れの修繕																																
流水電磁弁の修繕																																



評価と今後の目標

節水に関しては、いち早く取り組み、各現場でも徹底して管理できている。
大幅に使用量が減り、売上の落ち込みはあったものの、対売上比でも目標を達成できている。引き続き継続して取り組んでいく。

環境目標および実績と取り組み内容例（産業廃棄物の削減）

基準値	目標値	実績値	主な取り組み内容
38,967 K g	38,577 K g	37,330 Kg	資源として再利用
69.3Kg	68.6Kg	83.4Kg	液の更新頻度の検討
(2007年度)	(1%)	(2008年度)	

取り組み結果 **20.3%増加 目標未達成（売上比）**

2 段目は売上比（百万円）

取り組み内容

資源として再利用
汲み出し量の削減
アルカリ・酸液の更新頻度の検討
不良の撲滅

各現場に環境活動チェックシートの
記入を義務付け

環境活動チェックシート

項目	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
資源として再利用																
汲み出し量の削減																
アルカリ・酸液の更新頻度の検討																
不良の撲滅																



スラッジのリサイクルは
大同エコメット(株)様に
委託しています。
溶融リサイクルによる二次
廃棄物の発生はありません。
(写真提供 大同エコメット(株)様)

評価と今後の目標

アルカリ脱脂を社内処分ではなく、業者引き取りに変更したところ、薬品使用量が減りスラッジも総量で考えると減ったが、売上の落ち込みにより、売上当たりで評価すると、目標を達成することが出来なかった。

今までの取り組みは確実に効果が出ていると思われるので、引き続き取り組んでいく。